

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	学外実習 I
科目基礎情報						
科目番号	2023-568			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質工学科			対象学年	4	
開設期	集中			週時間数		
教科書/教材	特になし					
担当教員	山根 説子					
到達目標						
技術者としての学外実習において、工学技術を実践するために以下のことを目標とした実習を行う。 (1) 学外実習を通して自己の職業適性や将来設計について考える材料を得る。 (2) 学問の実践的な意義を認識する。 (3) 職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	学外実習を通して自己の職業適性や将来設計について考える材料として、事前レポート・履歴書（自己アピール・志望動機）を自己の将来設計と関連付けて具体的に作成できる。		学外実習を通して自己の職業適性や将来設計について考える材料として、事前レポート・履歴書（自己アピール・志望動機）を作成できる。		学外実習を通して自己の職業適性や将来設計について考える材料として、事前レポート・履歴書（自己アピール・志望動機）を作成できない。	
評価項目2	学問の実践的な意義を認識し、学習活動の重要性を再認識し、その意欲が読み取れる内容の事前レポート、実習後レポートを作成できる。		学問の実践的な意義を認識したことが読み取れる内容の事前レポート、実習後レポートを作成できる。		学問の実践的な意義を認識できず、事前レポート、実習後レポートが作成できない。	
評価項目3	職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけ、期限内に学外実習に関する提出物を提出できる。		職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけ、期限内に学外実習に関する提出物を提出できる。		職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけることができず、期限内に学外実習に関する提出物を提出できない。	
学科の到達目標項目との関係						
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5						
教育方法等						
概要	企業や大学、研究機関等での実習を通じて、実習先の研究者等、先輩技術者から指導を受け、これまでに学んだ知識を活かして実際の現場での技術を修得する。 また、学外実習の経験を今後の学習及び自身のキャリア育成に役立て、技術者としての意識を高揚させることを目的とする。 授業で修得した知識や技術が実際の工場あるいは研究機関において、どのように利用・実用化されているか理解する。 長期休暇中に1週間程度の実習を学外にて行う。実習後に報告書を提出すること。					
授業の進め方・方法	学外実習に当たり、以下のように事前学習・実習・事後学習の3段階で授業を進める。 (実習前) ・実習先を選定する。 ・実習先および業界全体について概要を調査し、レポートを作成する。 ・実習先に提出する履歴書を作成する。 (実習) ・実習先の規則やルールを遵守して、工学技術者としての実践学習を行う。 (実習後) ・実習の内容について報告書を作成する。 ・実習の内容について、口頭でプレゼンテーションを行う。					
注意点	評価については、評価割合に従って行います。 (参考) 学生便覧 沼津工業高等専門学校学外実習規定 第13条 学外実習の単位は、実習時間30時間を1単位相当として認定するものとする。ただし2学年にわたる実習を総合し単位を認定することはできない。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	学外実習説明会において実習におけるマナーを身につける。		
		2週	過去の受け入れ先企業	ダイキン工業		
		3週		三菱アルミニウム株式会社		
		4週		サントリー株式会社		
		5週		東洋インキ株式会社		
		6週		花王		
		7週		日本触媒		
		8週		アステラスファーマテック		
	2ndQ	9週		MeijiSeikaファルマ		
		10週		シミックCMO株式会社		
		11週		中外工業薬品		
		12週		ツムラ株式会社		
		13週		カゴメ株式会社		

後期		14週	学外実習報告会	学外実習においてどのような内容を実施し、何を得たのかを他者にプレゼンテーションできる。
		15週		
		16週		
	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	提出課題	報告書	発表	自己評価	合計
総合評価割合	10	50	30	10	100
履歴書・エントリーシート	10	0	0	0	10
事前学習レポート	0	10	0	0	10
学外実習実施報告書	0	40	0	0	40
学外実習報告会	0	0	30	5	35
実習中の目標達成	0	0	0	5	5